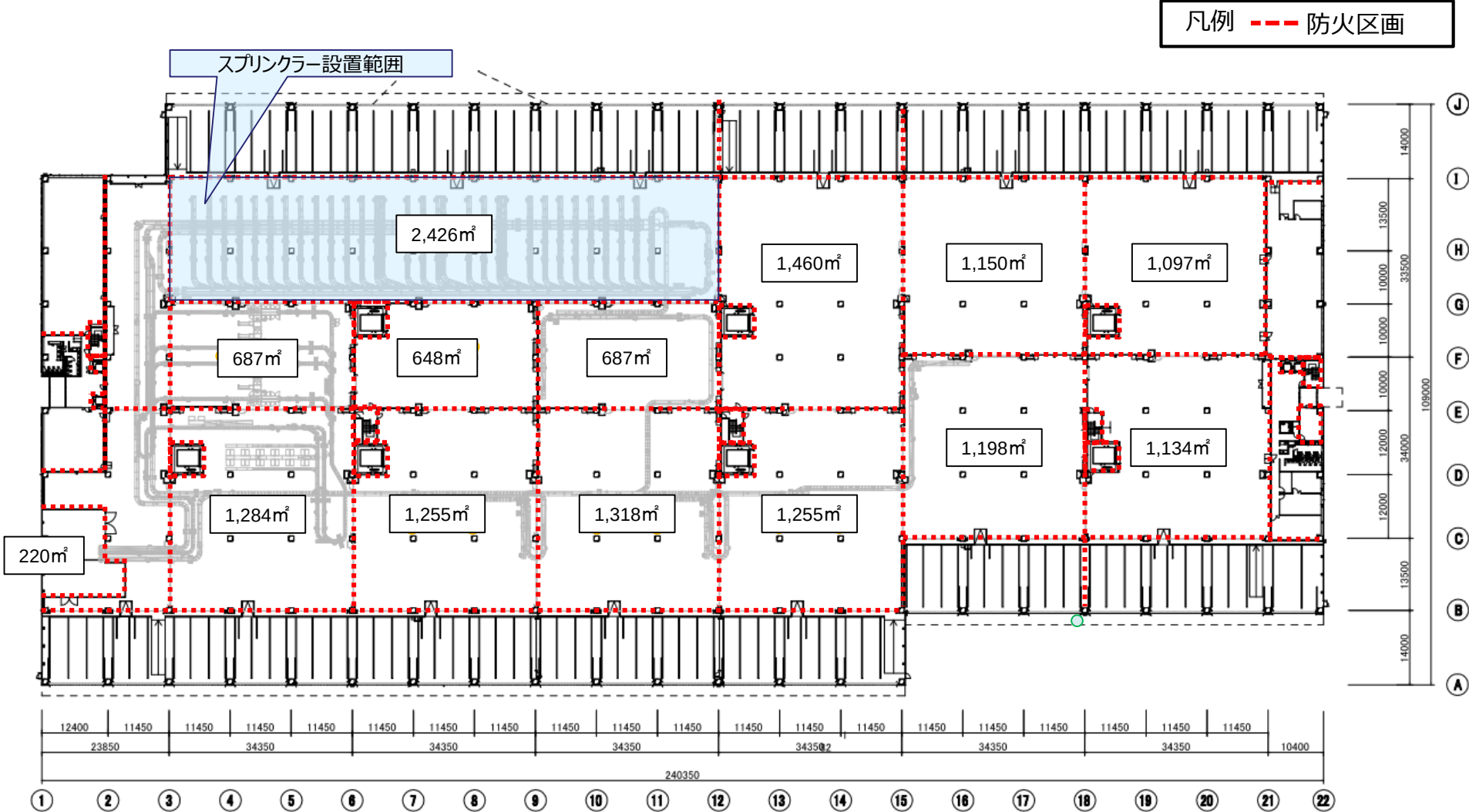
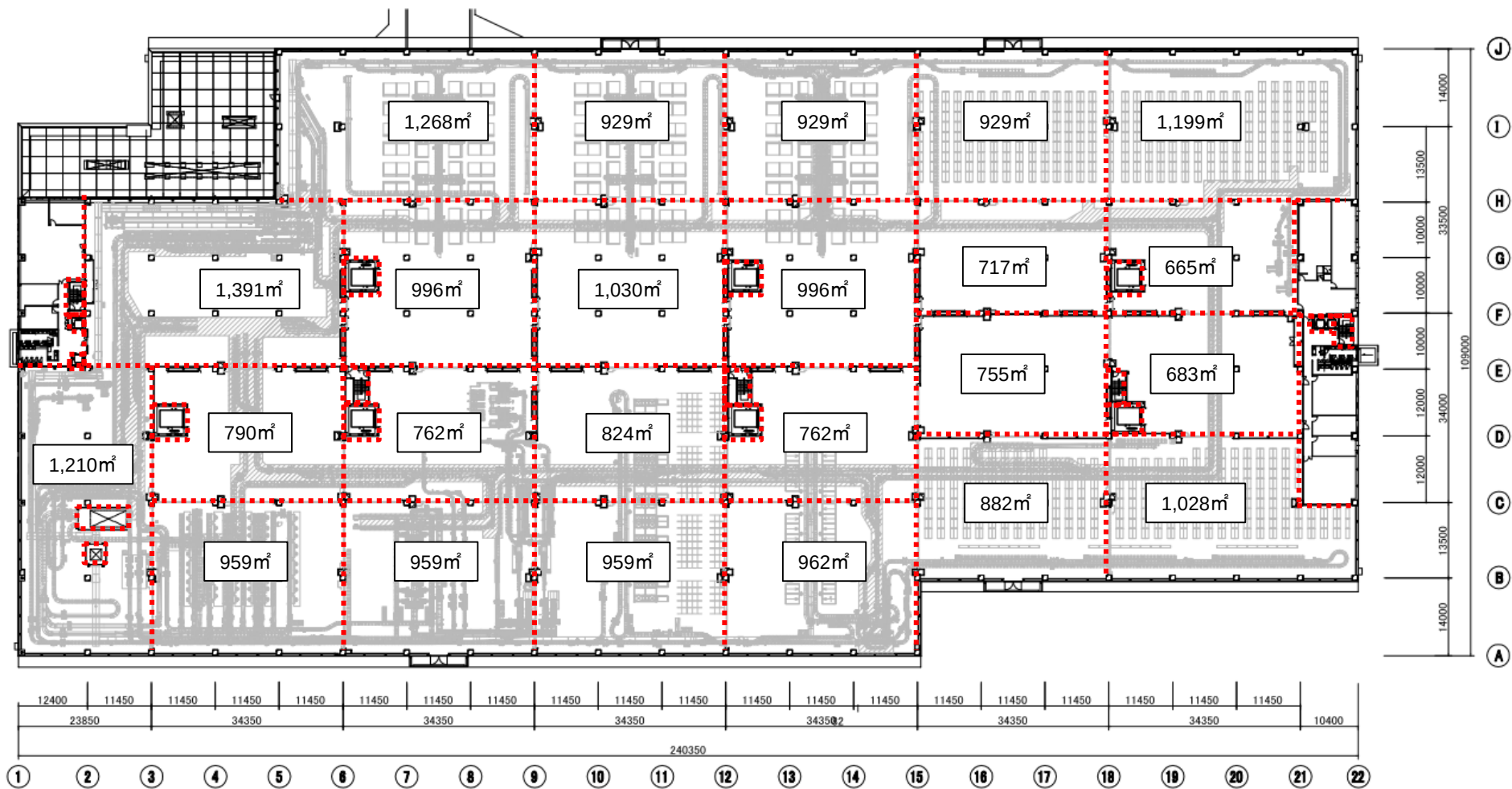


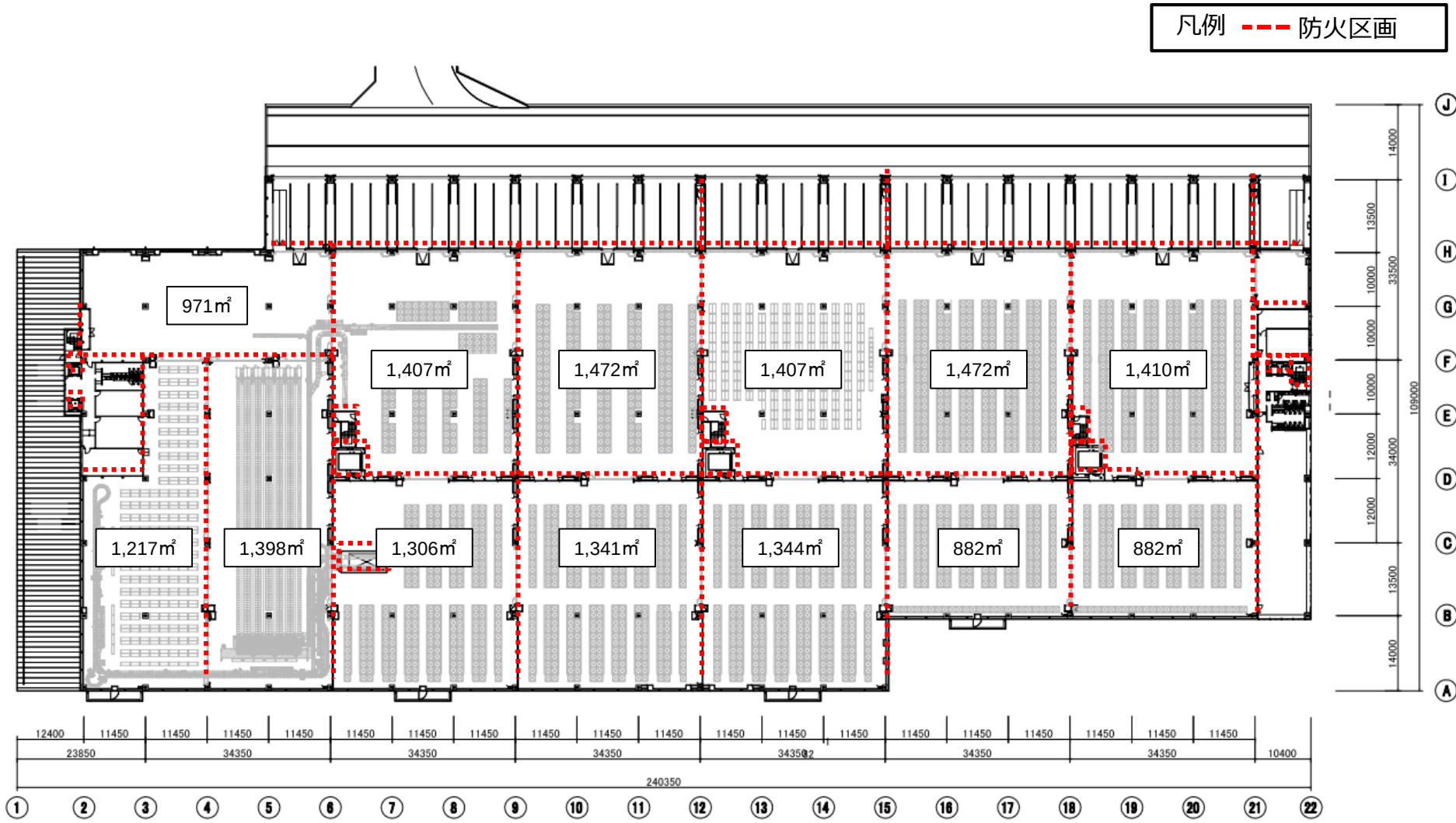
出火建物の状況



凡例 --- 防火区画



被災建築物の防火区画(3F)



主要構造部の状況(2F、3F)

2
F



RCの柱には、火炎で炙られた跡が確認できる。



室内のコンベヤや物品が焼損していることが確認できる。

3
F



柱や梁のたわみが見られるが、屋根は燃え抜けていない。



壁の歪みがみられるが、屋根は燃え抜けていない。

防火シャッター等の閉鎖状況

閉鎖状態にあったもの



＜2Fの防火シャッター＞

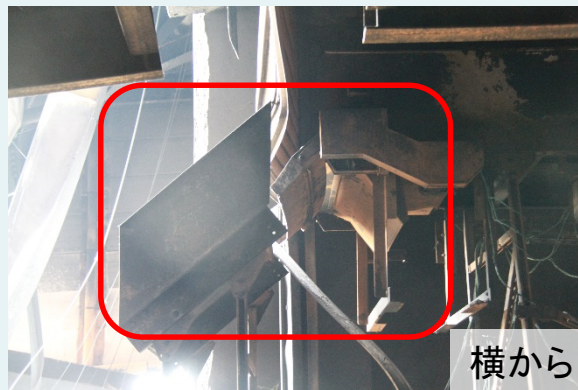


＜3Fの防火シャッター＞

閉鎖障害があったもの



＜コンベヤによる閉鎖障害＞



横から



＜物品による閉鎖障害＞

作動をしなかったもの



＜2Fの防火シャッター＞



＜3Fの防火シャッター（作動せず崩落）＞

階段室扉、エレベータ扉の閉鎖状況

階段室扉



扉は閉鎖している状況



扉は閉鎖している状況

<3Fの階段室扉>

エレベータ扉



扉は閉鎖している状況

<2FのEV扉>



扉は閉鎖している状況

<3FのEV扉>

○ 3階部分には、非常用進入口の代替となる開口部(窓など)が設置されている。

- ・ 窓の寸法は、直径1mの円が内接する規模が確保されている【現場において確認】
- ・ 窓の間隔は、10m以内ごとに設けられている【確認申請書の図面において確認】

